



## 申14号「2021年度年末手当等に関する申し入れ」 第2回団体交渉開催！ その4



# 組合員の声を訴える！

①

## 生活実感

- ◆収入が減少する中コロナ感染防止のためマスク等の消耗品の購入は必須だ
- ◆ローン支払いが不安だ ◆ 保育料を払うとお金が足りない ◆ 養育費の支払いは期末手当で賄っている ◆ 子どもの習いごとの見直しをしなくてはならない ◆ 期末手当も生活費に充てているが、定期昇給のカットと夏季手当の減額によって、貯金が出来ないので生活できない ◆ 小遣いの見直しや生活に余裕がなく趣味にお金が使えない ◆ 生活スタイルを変えないと生活できない ◆ 貯金のために共働きを続けている ◆ 勤続 25 周年の副賞も生活費になっている ◆ 食品の値上げやガソリン・灯油等の高騰が続いているので賄えない ◆ 生活を脅かすまでになっている

会社：会社の持続的な成長によって働きがい向上、会社も成長して、労働条件も向上する。そして社員・家族の幸福実現につながる。成長して還元していきたい。

## 労働実感

- ◆コロナ対策で自宅待機やテレワークがあり、職場への出勤が減っているが、業務量が増えているので超勤になっている ◆ システム化が進んでいるが、試行期間が短くて職場がついていけない ◆ 外注化が進められてきたが、赤字だから直轄になった ◆ オリピック・パラリンピックによって、例年のない業務だったが無事故で行ってきた ◆ 大規模輸送障害があり、苦労して復旧した ◆ 赤字決算においても仕事の質は下げられない ◆ 現場では優先順位を付けて工夫して業務している。仕事の質は上がっている ◆ 業務がきつくなり、疲弊している ◆ 体力的にもフル稼働だ。賃金が減るのはおかしい ◆ 効率化による利益は、組合員・社員へ還元するべきだ

会社：コロナ禍で変化は生じている。成長のサイクルをつくり出して還元していきたい。

## 職場での努力

- ◆光熱費削減やマイパジャマ運動などコストカットに協力して実績を出してきた ◆ 新聞購読を取りやめ、コピーもカラー印刷から白黒印刷に切り替えて管理してきた ◆ コストカットを理由に予算が付かない ◆ 除草関係は直轄へ変更になった。グループ会社が管理する土地も除草している ◆ 外注の修繕、調査もやっている ◆ 今までにないコストカットに貢献している ◆ 検修服の洗濯洗剤を撤去した職場もある ◆ Buy JR も協力している ◆ 有料イベントで増収に貢献している ◆ 職場では本当に必要なかと言う物品が大量購入されている ◆ 様々な施策を実施し、新たな技術や取り組みが導入され、苦労しながら施策に向き合ってきている ◆ 昨年より客足が増えている中で対応している。コロナ前の一昨年と比べて乗降人員が 150%を超えている日もある ◆ チケットレスが進められるが、問い合わせも増えている。対応するのは組合員だ ◆ 窓口や券売機の削減により利用者に不便をかけているが、不便を感じさせないために求められるのは組合員による案内だ

会社：様々な積み上げが上期の実績に現れている。「社員の皆さんへ」にもあるが、未来に向けた成長のサイクルを回していくことが大事。